

リポ蛋白分画(ポリアクリルアミドディスク電気泳動法)

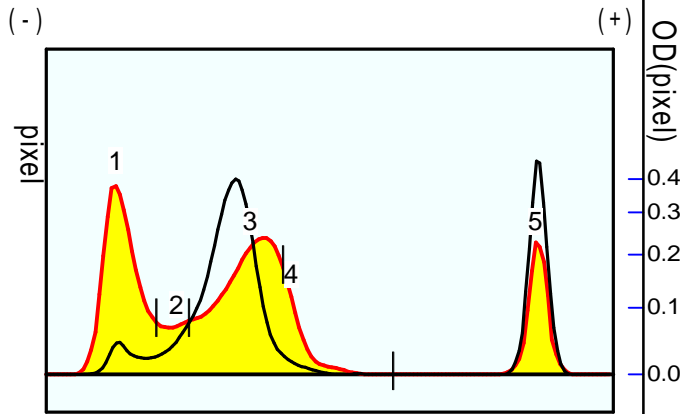
施設名: _____
 登録No.: _____ 氏名: _____
 カルテNo.: _____ 採取日: _____
 性別: _____ 年齢: 48

分画名	%	RM	コレステロール mg/dL
1 VLDL	34	0.00	_____
2 IDL	6	0.15	15
3 LDL	39	0.32	99
4 s-LDL	8	0.42	20
5 HDL	13	1.00	_____

LDL-Cの計算値: 134 mg/dL

(注) LDL-Cの計算式: $(LDL-C) = (TC) - (HDL-C) - (TG/5)$
 (Friedewaldの計算式)

TC: 231 mg/dL TG: 291 mg/dL HDL-C: 39 mg/dL



中塗り表示: 患者検体
 実線表示: 標準検体

コメント

s-LDLの増加を伴う 型高脂血症の疑いがあります。
 VLDLが高値です。乳び ±

特許第4120011号(リポ蛋白質の検体検査方法)

特許第4211463号(画像からの濃度定量法)

患者検体

標準検体

(-)

VLDL
 IDL
 LDL
 s-LDL

HDL

(+)

検査責任者:

リポ蛋白分画(PAG法)正常参考値)

分画名	(%)	
	男性	女性
1. VLDL	3~12	5~12
2. IDL	2~5)	2~5)
3. LDL	56~70	59~69
4. s-LDL	0~3)	0~3)
5. HDL	23~36	23~32

IDLはRM0.10-0.18、s-LDLはRM0.40以上とする。)
 (注)s-LDLが正常参考値範囲内であっても、LDL分画が標準波形より(+)側にシフトしている部分(RM0.35以上)で小粒子の可能性があります。

臨床的意義

- VLDL 超低比重リポ蛋白質で正常な人で、TG 値が高いと概ね高くなります。
- IDL ミッドバンドとも言われ、超悪玉の LDL の一種です。フィブラート系薬剤の投与で減少します。強力スタチンで無くすることができます。
- LDL 多すぎる場合は要注意です。
- s-LDL small-LDL と言われ、超悪玉 LDL の一種です。小粒子化した LDL で酸化を受けやすいと言われています。フィブラート系薬剤の投与で減少しサイズも戻ります。強力スタチンで無くすることができます。
- HDL 善玉とも言われ HDL コレステロールが約 80% を占めています。多すぎるのも異常です。
 ・高脂血症表現型の判定方法は簡易判定法による。)

)医療と検査機器・試薬 Vol 33:399-402, 2010.

)Progress in Medicine Vol 32:133-135, 2012.

)日本医事新報第4527号:51-58, 2011.

)動脈硬化 Vol 25:67-70, 1997.

)別冊日本臨床 No.20:63-78, 2012.